

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年 10月 31日

スポーツ療育WHISTLE！(ホイッスル)宇佐南校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		一人当たりのスペースが十分に確保されており、サッカーなどスポーツができる環境が整っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		必要な人数が配置されているため、安心して活動できる環境が整っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	基本的な要件は満たされているものの、全体としては十分とは言えない状況ですので、今後も必要な設備を充実させていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		目標設定や振り返りに職員の意見がしっかり反映されており、職員が共通の理解を持っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		集めた意見をもとに具体的な改善策を講じており、より良いサービス提供に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		自己評価の結果は、事業所のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	客観的な視点を取り入れるために外部評価の導入を検討し、その結果を活かして業務改善を進めていきたいと考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		月に1度外部、内部での研修を行い研修報告も行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		契約時にアセスメントを行い、ニーズ、課題を分析し計画案を作成しており、支援会議で計画の見直しを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	今後は、より客観的な評価ができるよう、標準化されたアセスメントツールの導入を検討してまいりたいと考えております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		毎月の全体ミーティングで翌月、翌々日のイベントを立案し、職員間で話し合っています。平日の活動は朝礼時に共有しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		子どもたちの興味や発達に合わせた新しいアクティビティを定期的に導入しています。また、保護者からの意見や子どもたちのリクエストにも耳を傾け、柔軟に内容を更新するよう努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		長期休み、休日利用時に、昼食づくりや社会見学等、児童に合わせた課題が取り組めるように企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画を作成しています。例えば、個別での学習や社会性の支援を行いながら、集団活動では対人スキルや協調性を養う内容を盛り込んでおります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		支援開始前に職員間で打ち合わせを必ず行い、その日の支援内容児童一人ひとりに対する対応方針、また役割分担について確認を徹底しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		支援終了後や送迎後に必ず職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容の振り返りや気づいた点の共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		毎日、児童の様子を記録し、情報共有することで今後の支援の検証や改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		定期的にモニタリングを行っています。成長やニーズの変化に合わせた適切な支援が提供できるよう努めております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5		支援が単一のアプローチに偏らず、包括的かつ多面的で個々のニーズに合った支援を提供できるよう努めています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		年間計画や行事予定の交換を行うとともに、下校時刻の確認を徹底しております。また、送迎時の対応やトラブル発生時の連絡についても迅速に行い、児童が安心して通える環境作りに努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	現在、医ケア児の受け入れは行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		相談員と情報共有を行い、児童の発達状況や支援内容について理解を深め、円滑な移行をサポートできるよう努めています。一貫した支援が行えるよう心がけています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		卒業する児童がいらないため連携は取れていないですが、今後に向けてスムーズな移行を実現するため、必要な情報を的確に提供できるよう事前準備に努めてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	日々の支援においては、子ども一人ひとりのニーズに応じた個別支援に注力しておりますが、今後より専門的な知識やスキルの向上を図るため、外部の専門機関との連携や研修の導入についても積極的に検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5		サッカー少年団や女子サッカーチームとの交流を積極的に行っており、一緒に活動する機会を設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5	今後、地域との連携をさらに深め、支援体制を強化するために、協議会等への参加を検討していきたいと考えております。地域の支援ニーズに応えるべく、貢献できる方法を模索していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		帰りの送迎時やLINEで保護者に申し送りを行っています。その他、お茶会や家族参加イベントで児童にとって最適な支援を考えるための意見交換を行っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		保護者が児童に対して適切に対応できるスキルを身につけられるよう、専門家による指導や情報提供を行っています。また、お茶会等を通じて保護者同士の交流も行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に運営規定、支援の内容、利用者負担、災害時についてお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		具体的な問題に対して必要な助言や支援を行い、適切に相談に応じることを大切にしています。安心して相談できるように、定期的に保護者向けの交流会も開催しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		お茶会を開催して、送迎時だけでは話することができない悩みなどを話す機会を作っており、保護者同士の交流を図っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		苦情受付窓口を設けており、苦情の内容を把握した上で迅速に対応できるようにしています。また、苦情があった際にはスタッフ全員が一丸となって問題解決に取り組むよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		月のおたより、イベント案内を作成し保護者に発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5		個人情報保護に関する研修や情報管理の体制を見直すことで、利用者のプライバシーをしっかりと守れるように努めています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		個々のニーズに応じた配慮を行っており、保護者の方には定期的にお子さまの状況をわかりやすく報告するよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	現在、地域住民を招いた行事の開催などは行っていないが、今後は地域とのつながりを大切にし、地域住民の方々と積極的に交流できる機会を作っていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	マニュアルを策定しており、職員には定期的な研修を通じて周知しています。また、保護者にもこれらのマニュアルの内容をお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	火災・水害など、いろいろなパターンを想定した訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	虐待防止のための職員研修や虐待防止委員会を実施しています。職員全員が適切な知識を持つように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	現在該当者はいませんが、身体拘束の使用基準や、事前説明など、了承を得るプロセスを構築していく必要があると考えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	全スタッフがアレルギー対応についての指導を受けており、日常的に子どもの安全を最優先に考えた対応を徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	案件の度合いに関わらず、振り返りを行い、ヒヤリハットとして職員と共有、今後の対策等を話し合うことで、重大な事故につながることを防ぐようにしています。